

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

トビイロウンカの主飛来及び発生状況(技術情報第5号)について(送付)
このことについて、早植え・普通期水稻におけるトビイロウンカの飛来・発生状況及び防除対策を下記のとおりまとめましたので、業務の参考に御活用ください。

記

今年のトビイロウンカの主飛来は7月4日頃と考えられます。
8月上旬時点での本田での発生は、平年より少ない状況です。
ただし、一部のほ場では、増殖能力の高い短翅型雌成虫や、早植え水稻で、主飛来とは一致しない若齢を主体とした幼虫の発生も確認されています。
このため、主飛来から推定される防除適期及びほ場での発生状況を確認し、効果的な防除を実施しましょう。

1 飛来状況

- (1) トビイロウンカは、合志市に設置した予察灯で本年度最多数の誘殺(26頭)が認められた7月4日が主飛来と考えられる(表1、表2)。
- (2) 梅雨時期(7月第1～5半旬)の累積誘殺数は、37頭(平年102頭)と平年より少なかった(表2)。

2 発生状況

(1) 早植え水稻(5～6月上旬移植)

主飛来から推定される第一世代幼虫期(7月31日～8月1日)に実施した払い落とし調査の結果、24ほ場の平均寄生密度(成幼虫合計)は0.2頭/10株と平年(15.5頭/10株)より少なく、発生ほ場率も20.8%と平年(49.0%)より低かった。ただし、一部のほ場では、8月上旬の要防除水準(2頭/10株)を超過しており、増殖能力の高い短翅型雌成虫も確認された(表3)。

(2) 普通期水稻(6月中～下旬移植)

主飛来から推定される第一世代幼虫期(7月31日～8月1日)に実施した払い落とし調査の結果、24ほ場の平均寄生密度(成幼虫合計)は0.0頭/10株と平年(1.0頭/10株)より少なく、発生ほ場率も4.2%と平年(24.7%)より低かった。また、防除が必要な水準に達したほ場は認められなかった。しかし早植え水稻と同様、一部で短翅型雌成虫が確認された(表4)。

(3) 無防除田(早植え水稻:5月12日移植、普通期水稻:6月15日移植)

合志市の無防除早植え水稻では、8月8日に若齢を主体とした4.2頭/10株の寄生を確認した。この発生は、主飛来(7月4日)から推定された幼虫期とは一致してい

ない（図1）。また、無防除の普通期水稻では、7月24日に若齢を主体とした5.0頭／10株の寄生を確認した（図2）。

3 防除対策

- (1) 本田防除に当たっては、表5を参考に主飛来（7月4日頃）の後世代幼虫を対象とした適期防除に努める。最新の防除適期及び発生状況については、病害虫防除所のホームページ（<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/75/125504.html>）に掲載している調査データを参考にする。
- (2) 早植え水稻については、無防除田での発生が幼虫期の予測（表5）と一致しなかったことから、防除適期が推定と異なる可能性があるため、現地での発生状況を定期的に確認し、薬剤の効果が高い若齢幼虫期を狙って散布する。
- (3) 8月上旬時点での発生状況は平年より少ないが、一部で短翅型雌成虫が確認されている（表3、4）。また、今後の気象条件がトビイロウンカの増殖に好適であると予想されているため、引き続き発生状況に注意し、要防除水準（8月中～下旬：10頭／10株）を超えたほ場では直ちに防除を行う。
- (4) 農薬散布に当たっては、必ずラベル等で使用方法を確認し、使用基準を遵守する。また、周辺の作物やミツバチ・魚介類等の環境に影響がないよう飛散防止対策に努める。

表1 トビイロウンカのネットトラップ・予察灯における誘殺数（令和5年度）

※ 数日間まとめて調査した場合は、調査日にデータを記入

調査日	予察灯	ネットトラップ		調査日	予察灯	ネットトラップ	
7/1	0			7/19	0	0	
7/2	5	0	初誘殺	7/20	0	0	
7/3	1	0		7/21	0	0	
7/4	26	0	主飛来	7/22	0		0
7/5	0	0		7/23	0		
7/6	0			7/24	1		
7/7	1			7/25	0	0	梅雨明け
7/8	0			7/26	0	0	
7/9	0	0		7/27	0	0	
7/10	0			7/28	0		0
7/11	3	0		7/29	0		
7/12	0	0		7/30	0		
7/13	0	0		7/31	0		
7/14	0	0					
7/15	0						
7/16	0	0					
7/17	0						
7/18	0						

表2 トビイロウンカのネットトラップ・予察灯における誘殺数（過去10年及び平年値）

月	半旬	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	平年値 (H25~R4)	R5
6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0.7	0
	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0.1	0
	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.1	0
	5	4	0	0	0	1	5	0	0	0	0	1	0
	6	9	1	0	1	0	0	1	4	0	8	2.4	0
7	1	1	10	0	0	0	0	27	227	0	0	26.5	32
	2	5	0	0	0	4	0	2	412	2	7	43.2	1
	3	0	15	0	35	7	0	49	119	0	2	22.7	3
	4	2	2	0	4	0	0	12	2	0	73	9.5	0
	5	0	1	1	3	0	0	4	7	0	2	1.8	1
	6	0	0	1	0	0	1	2	17	0	5	2.6	0

表3 早植え水稻におけるトビイロウンカの寄生密度（頭/10株）

※ 7月31日～8月1日 30株の払い落とし調査

地点名	成虫				幼虫			計	
	長翅♂	長翅♀	短翅♂	短翅♀	老齢	中齢	若齢		
早 植 え	山鹿市鹿北1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	山鹿市鹿北2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	山鹿市菊鹿1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	山鹿市菊鹿2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	阿蘇市狩尾1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	阿蘇市狩尾2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	阿蘇市的石1	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	0.7	0.3	2.3
	阿蘇市的石2	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.7	0.0	1.0
	南小国町赤馬場1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.3
	南小国町赤馬場2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	南阿蘇村久木野1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.7
	南阿蘇村久木野2	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.3	0.0	0.7
	山都町南田1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	山都町南田2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	甲佐町寒野1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	甲佐町寒野2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	八代市二見町1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	八代市二見町2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	芦北町大野1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	芦北町大野2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	あさぎり町上1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	あさぎり町上2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	錦町1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	錦町2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
24ほ場の合計頭数	0.0	0.0	0.0	0.7	1.7	2.3	0.3	5.0	
	0.7				4.3				
24ほ場の平均	0.2 頭(平年 15.5 頭、昨年 1.4 頭)								
発生ほ場率	20.8 %(平年 49.0 %、昨年 25.0 %)								

表4 普通期水稻におけるトビイロウンカの寄生密度（頭／10株）

※ 7月31日～8月1日 30株の払い落とし調査

地点名	成虫				幼虫			計	
	長翅♂	長翅♀	短翅♂	短翅♀	老齢	中齢	若齢		
普通期	熊本市画図1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	熊本市画図2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	熊本市中無田1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	熊本市中無田2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	熊本市富合町木原	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	熊本市富合町平原	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	玉名市両迫間1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	玉名市両迫間2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	玉名市横島1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	玉名市横島2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	山鹿市鹿央町1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	山鹿市鹿央町2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	菊池市赤星1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	菊池市赤星2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	大津町陣内1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	大津町陣内2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	益城町福原1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	益城町福原2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	八代市鏡町1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	八代市鏡町2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	氷川町網道1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	氷川町網道2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	芦北町花岡1	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.3
	芦北町花岡2	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.3
24ほ場の合計頭数	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.7	
	0.7				0.0				
24ほ場の平均	0.0 頭(平年				1.0 頭、昨年 0.0 頭)				
発生ほ場率	8.3 %(平年				24.7 %、昨年 8.3 %)				

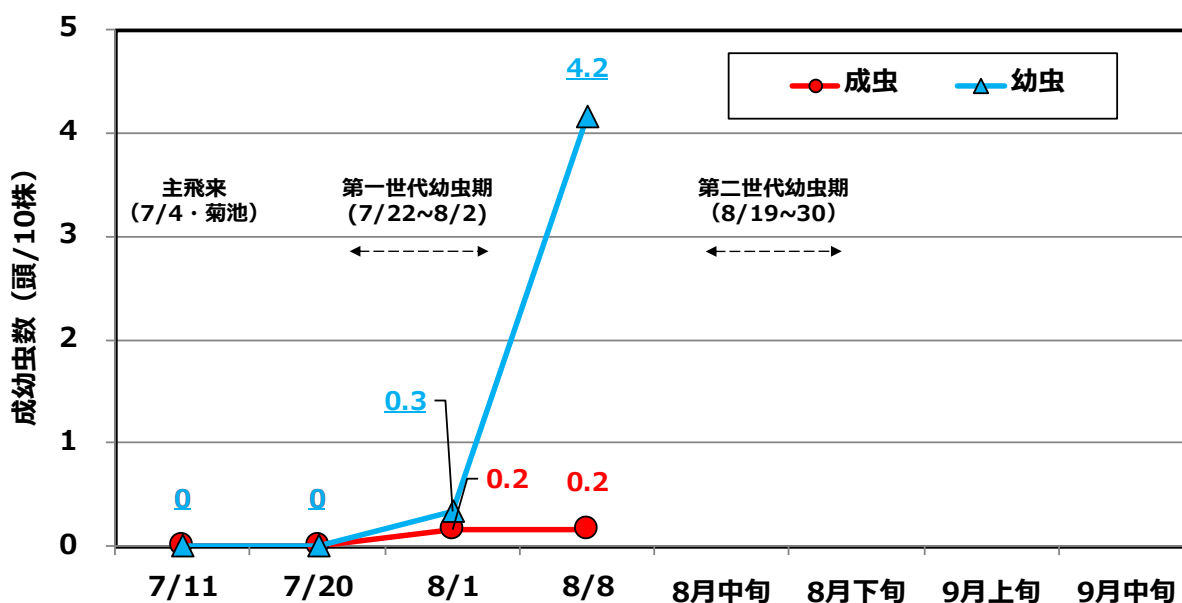


図1 無防除早植え水稻（5/12 移植・合志市）におけるトビイロウンカの発生推移

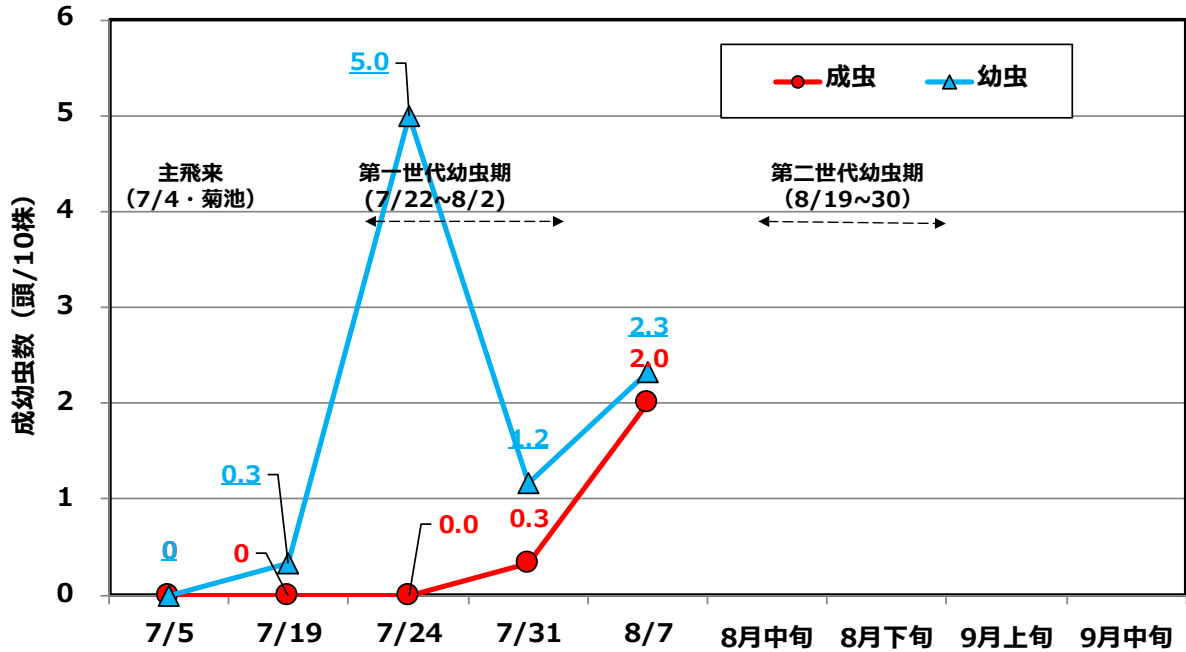


図2 無防除普通期水稲（6/15 移植・合志市）におけるトビイロウンカの発生推移

表5 県内各地のトビイロウンカ防除適期（主飛来対象）

※ JPP ネットによる有効積算温度計算シミュレーション ver2 を使用

★7月4日飛来の場合（熊本県農業研究センター設置の予察灯における主飛来日から推定）

地点名	熊本	三角	岱明	鹿北	菊池	阿蘇乙姫	甲佐	八代	水俣	人吉	本渡
第1世代 幼虫 (1齢～5齢)	7月21日 ～ 8月1日	7月21日 ～ 8月1日	7月21日 ～ 8月1日	7月22日 ～ 8月3日	7月22日 ～ 8月2日	7月25日 ～ 8月7日	7月22日 ～ 8月2日	7月20日 ～ 7月31日	7月20日 ～ 7月31日	7月22日 ～ 8月2日	7月22日 ～ 8月2日
第2世代 幼虫 (1齢～5齢)	8月17日 ～ 8月28日	8月17日 ～ 8月28日	8月17日 ～ 8月28日	8月21日 ～ 9月2日	8月18日 ～ 8月29日	8月29日 ～ 9月13日	8月20日 ～ 9月1日	8月16日 ～ 8月27日	8月18日 ～ 8月29日	8月20日 ～ 9月1日	8月20日 ～ 9月1日

注1) 8月9日までは2023年実測の平均気温、8月10日以降は平年の平均気温をもって有効積算温度にて試算した。
 注2) 各地点のアメダスデータ平均気温(本年値及び平年値)をもとに、有効積算温度により发育ステージを予測した。
 注3) 防除を行う場合は、薬剤の効果が高い若齢幼虫期(1～2齢)を狙って防除する。

ステージ	有効積算温度(日度)	发育0点(℃)	備考
成虫	125	12	産卵までの期間
卵	135	11.4	孵化までの期間
幼虫	250	6.5	1齢～5齢幼虫の期間

(参考) トビイロウンカの発生時期別要防除水準

発生時期	要防除水準(成幼虫)
7月中旬～8月上旬	2頭/10株
8月中旬～8月下旬	10頭/10株

熊本県病虫害防除所
 (熊本県農業研究センター 生産環境研究所内)
 担当：守田 TEL 096-248-6490